

令和2年第11回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和2年12月24日(木)午後1時30分～午後1時58分
- 2 開催場所 下松市役所 5階 501会議室
- 3 出席委員等
教育長 玉川 良雄
委員 江口 雄二
委員 篠原 照男
委員 白木 正博
委員 林 哲人
委員 木佐谷 真理子
- 4 会議に出席した事務局職員
教育部長 小田 修
教育次長 河村 貴子
学校教育課長 世木 尚
学校給食課長 池田 千帆
生涯学習振興課長 片山 康秀
図書館長 長弘 純子
- 5 会議の書記 教育総務課長補佐 引頭 康行
- 6 会議録の署名委員 林 哲人 木佐谷 真理子
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題
(1) 報告第26号 専決処分について
- 9 会議の付議の顛末

○**教育長** それでは、ただいまより本年度最後の教育委員会定例会を開催いたします。
本日の議事録署名委員ですが、林委員、木佐谷委員さん、よろしく願いいたします。
それでは、早速ですが、議事に入りたいと思います。
資料のほうをよろしく願いいたします。
本日は、報告が1件となっております。

(1) 報告第26号 専決処分について

○**教育長** 報告第26号、専決処分について、関係の課長のほうから説明をお願いいたします。河村教育次長。

○**教育次長** それでは、報告第26号、専決処分のうち、教育総務課の所管するものについてご説明をいたします。

資料の3ページをお開きください。

まず、教育総務費の事務局費について、家庭学習用の通信機器、モバイルルーターを整備するための経費300万円です。整備台数ですが、本年10月に就学援助世帯を対象に調査を行ったところ約30%がインターネット環境が未整備ということでございました。

就学援助を受給しておられるのは、全体の約15%ですので、全児童生徒数4,700人のうちの15%、さらにその30%ということで、211人になるんですが、これに予備を含め300台のモバイルルーターを購入いたします。家庭学習用通信機器モバイルルーターは、1台1万円の定額補助がございますので、300万円を全額国庫補助金で賄います。

なお、実際に学校で必要とされる児童生徒にこのルーターを貸し出す場合ですが、学校では就学援助世帯に限らず、必要とされているご家庭に貸し出す予定でございます。

次に、中学校管理費の特別工事です。

中学校の配膳室及び図書室に空調設備を設置いたします。

なお、末武中学校図書室は、既に空調は整備されておりますので、設置から18年から20年を経過する保健室と校長室の空調を更新いたします。

この空調設置工事につきましては、国庫補助金、学校施設環境改善交付金の592万1,000円の内定通知を受けております。繰越明許費を設定しておりますので、これから業者を選定、契約の後、春休み、またはゴールデンウィークに工事を行い、今年の夏までに対応する予定としております。

教育総務課は以上でございます。

○**教育長** それでは、続きまして世木学校教育課長お願いいたします。

○**学校教育課長** 同じく3ページ、学校教育課担当分の指導費についてご説明します。

補正額43万円、これは新型コロナウイルス感染症対策のために豊井小学校に学校業務支援員1名を追加配置するためのものがございます。学校業務支援員は、国と県、合わせて2分の1、市が2分の1の負担という事業でございます。

今年度当初予算で中学校3校と小学校の大規模校3校、それぞれに1名ずつ、合わせて計6名を年度当初に配置したところであります。その後、新型コロナウイルスへの対応として、国が追加配置の予算を確保したことから、6月補正で久保小、中村小、東陽小に各1名ずつ追加配置を行いました。

さらに、8月に5学級以下の小規模校にも、この学校業務支援員を配置できるという旨の連絡が国、県からございましたので、10月12日から豊井小学校にも1名を追加配置したところであります。

以上です。

○**教育長** では、続きまして、片山課長。

○**生涯学習振興課長** 社会教育費の笠戸島公民館管理運営費でございます。

こちら笠戸島公民館の空調設備の改修事業の財源を更正したものでございます。

以上です。

○**教育長** 長弘館長お願いいたします。

○**図書館長** 図書館費ですが、お二人の個人の方から10万円ずつ図書購入費の寄附を受けまして、図書購入費が総額2,425万円になったということです。

以上です。

○**教育長** ありがとうございます。

それでは、質疑に入りたいと思います。質問のある方は挙手をして質問してください。白木委員。

○**委員** 2点ほどお聞きしたいんですけど、モバイルルーターなんですけれども、これはハードちゅうということですよ、1万円というのは。機械、ルーターそのものですか。

○**教育次長** おっしゃるとおり、モバイルルーターの装置、ハードのものでございます。

○**委員** その通信費ちゅうか、そういうものは、これはまた別に予算化するちゅうことですよ。

○**教育長** 河村次長。

○**教育次長** おっしゃるとおり、実際にこのルーターを使う場面では、通信費が発生してまいります。このモバイルルーターの購入についてですが、公募型プロポーザル方式により業者選定、その後、契約して、今年度中に納品できるように進めているわけですがけれども、その通信料等の条件というのは、業者によって異なりますので、そういったものも業者を選定する中で比較検討していく予定です。

通信料につきましては、個別に補助をするような形を取るのではなく、市がモバイルルーターのこの契約をして、通信できる状態のこのルーターを貸し出すという方法で調整していきたいというふうに今考えております。

したがいまして、通信料については、ルーターを実際に使用するという、そういう必要が生じた場合に必要な額を予算化してまいりたいというふうに思います。

以上でございます。

○**教育長** もう一件あるんですかね。

○**委員** もう一件は、感染症対策のために1人配置されると書いてあるんですが、具体的にはどんな仕事をされるんですか。

○**教育長** 世木課長。

○**学校教育課長** 一般的には、感染症対策にかかわらず、教員の業務を支援するというのが本来の目的でして、印刷であるとか、会計の補助であるとか、パソコンでいろんな数値計算を行ったりとか、配付物の仕分け、山のようにあるんですけども、この感染症対策に特化するととなると、やはり消毒業務というものもそうでしょうし、あと教員がやらなければならないことをこの学校業務支援員が担うことによって、その教員は学習保障のために結構大変な時期でありますので、その学習保障に教員が専念できるようにするために、それ以外のことを学校業務支援員が担うと、そういう認識です。

○**教育長** そのほか質問ございませんか。木佐谷委員。

○**委員** 今、学校業務支援員さんが大きい学校に3名、3名と、中学校3名、小学校3名と、1人ずつ全部の学校に行かれていますか。大きい学校でも1人で足りていらっしゃる感じなんですか。先生のご苦労は減っていらっしゃるのでしょうか。

○**教育長** 世木課長。

○**学校教育課長** そうですね。助かっているという声は聞くんですけども、やはり規模によってその業務量が違いますので、本当は多いほうが、とは思うんですけども、なかなか複数配置というのが難しい状況があります。

配置の人数は、県が国からいただける枠というのがあります。その枠を各市町に希望に応じて配分をしていくという形になりますので、こちらが希望する数そのまま県がゴーサインを出すというようなことでもありません。

また、配置できる人材の問題もありますし、また職員室に人が増えますと、その分、配備しなければならない設備も増えるという様々な問題がありますので、現在のところは、これ去年から配置しているんですけども、まずは1校に1人ずつ配置して様子を見ているというのが現状です。

○**教育長** 江口委員。

○**委員** この配置なんですが、新型コロナウイルス感染症対応になっていますが、例えばコロナが収まった場合、今、学校ではこういった支援の人が足りないわけですよね。その後、どうなんですか。

○**教育長** 世木課長。

○**学校教育課長** 教育委員会としては、継続して配置することを要望していきたいと。国の補助はなくなるかもしれませんが。

○**教育長** そのほかございますか。木佐谷委員。

○**委員** 10月の時点でタブレット端末を学校に納入された場合の活用としては、学校でというふうにご説明を受けたと思うんですけど、このルーターを整備されるということは、家庭学習でも活用していただけるような方向で、今ちょっと変わってきていらっしゃるというか、今時点でどんなふうにご活用させていこうというふうにお考えなのか、決まっていることを教えていただけたらと思います。

○**教育長** 河村次長。

○**教育次長** ルーターの購入目的ですけども、第一義的には新型コロナウイルスのような感染症、あるいは自然災害の発生時による学校の臨時休業等の緊急時において、家庭でのオンライン学習をするということでございます。

しかしながら、来年度からは本格的に児童生徒1人1台にタブレットを活用した学習が始まりますので、ルーターの有効活用についても、今後学校現場とも協議しながら進めてまいりたいというふうに考えております。

平時の授業においても、教室以外でのタブレットの利用、例えば体育館とかグラウンド、こういったところで利用する場合、あるいは校外、社会見学のときなどにも利用するとか、いろいろなタブレットの活用が考えられますので、その場合にもルーターは生きてくるというふうに考えます。

以上です。

○**教育長** タブレットの使い方について、授業とか家庭とか、どのように使われていくのかという点については、学校教育課長のほうでどのようにお考えですか。世木課長。

○**学校教育課長** 基本的には、平素の学校の学習に使っていくというのが基本ということになるかと思えます。有事の際にタブレットを家庭に持ち帰ってもらって活用するということはあろうかと思えますが、まずそれよりも、まず第一段階として、通常の授業の中でどういうふうに活用していくかということをもまずは、研修はやっていきたいというふうに思います。

○**教育長** 林委員。

○**委員** 今のことにに関してあまり詳しくないんですが、教室の中で30人ぐらいが一どきにどっとタブレットを使って、それに賄えるだけのWi-Fiとかの設備ができるかどうかというのがちょっと気になるんですが。

○**教育長** 河村次長。

○**教育次長** 今年度各小中学校でLAN整備工事を行いまして、皆さんがタブレットを使った授業をしても賄えるだけの環境整備をしたところでございます。

○**委員** 容量は十分。と言ったらおかしいですが。

○**教育次長** そうですね。その辺りのことも含めて、初めてのことで、専門家の意見も聞きながら進めているところです。

○**委員** この前、華陵高校が何かテレビでやっていましたよね。あれは県の指定を受けたのかな。（「はい」と言う者あり。）あれなんかも授業で、あのときは授業で完全に使ったので、せっかくすぐ近くにあるので、小中学校の先生が研修させてもらうにはいいかなというふうに思います。

○**教育長** そのほかございますか。江口委員。

○**委員** 直接関係はないんですけども、デジタル教科書が来年からどんどん出てくると思うんですが、まだまだ先のことで、これからどういった皆さんお考えか分からないんですが、デジタル教科書を紙の教科書と併用して使うことになると思うんですが、どのくらいの割合で来年度から使用されるかどうか、どうなんでしょう。

○**教育長** ちょっと来年度の導入予定というのはどのぐらいなんですか、先にデジタル教科書。河村次長。

○**教育次長** まず、指導用のデジタル教科書ですけれども、中学校が教科書を改訂されますので、それに合わせて各学校にデジタル教科書の希望を聞いて、それは今予算のほうに上げております。

○**教育部長** 5、6年生と、中学生になっていましたけど、それを本市が導入するかどうかというのは、今後検討するようになると思います。

○**委員** デジタル化に対して不安の親もいまして、健康にあまりよくないんじゃないかとか、目が悪くなるんじゃないかとか、あるいは字を書かないから学力が低下するんじゃないかとか、いろいろな意見がありますよね。

だから、そういった点もよく考えて、デジタルだけがいいとは言えない。うまく利用したいんですよ。

ただ、一遍にデジタル化するんじゃなくて、恐る恐るでいいから慎重にこれやったほうがいいと僕は思うんですよ。これ読売新聞に結構大きく書いているんですが、教育現場がひどく懸念していると、健康に影響があるとか、ノウハウが不足しているとか、費用の負担があるとか、いろんな意味で懸念する声が出ていますので、慎重にうまく活用していただきたいというのが僕の考えです。

○**教育長** 来年から徐々に学校に入っていきますので、できるだけ声は吸い上げながら、よさを、

いいところを活用していけるように教育委員会と学校が協議しながら進めていければというふうに思います。（「ぜひ」と言う者あり。）はい。

○委員 この前、先生の働き方改革で、少しでも先生の負担を少なくすると、こういったことを申し上げましたが、デジタルをうまく活用して、そういった意味ではいいと思うんですが、ただ、学力の低下とか、健康に不安な場合は、これはまた注意しなければならない、こういった考え、両方の意見あるんですけども、慎重にいただいていたほうがいいと思いますということです。（「はい」と言う者あり。）

○委員 ちょっと教えていただいてもいいですか。

○教育長 篠原委員。

○委員 デジタル教科書というんですか、普通に教科書でも、例えばドリルとか何とかをこうやれば、ちょっとネットか、スマホで見れますよとか、ああいうのじゃなくて、内容が全部自分の手持ちで見ていくちゅう、それをデジタル教科書というわけなんですか。

○教育部長 教科書が紙じゃなくて、ソフトなんですね。

○委員 だから、要は教科書という概念じゃなくて、例えばこんなコンパクトになって、それを画面で見ていくというような、そういう感じですか。

○教育部長 それはクラウドなんでしょうけど、画面で全て見るということです。

○委員 確かにそればっかしになっちゃうと、本当、手を動かしたりするという能力は、それはつくでしょうけど、頭の中で考えたりとか、組み立てたりとか、文書を書いていくとか、それはそれでまた別な教育と一緒に並行してやらないと、退化しちゃいますよね、確かに。

○教育長 電子図書館で、市の図書館のほうで今やっていますよね。電子図書の貸出しを、私も見たんですけど、画面にぱっと出るんですよ。紙の代わりですが、めくれるんですよ。大きくできたりとか、実際に、強調をして読みやすくしたりとか、音声読み上げとか、だから特別支援の必要な子供たちにとってはとってもいいと思いますが、常時それでやることの弊害というのも、先ほど意見出ていましたが、かなりあると思うので、従来型の今の教科書と組合せながら使っていくかといけないだろうなと思います。よさもありますので、その辺のよさはしっかり取り入れたほうがいいかなと思います。

○委員 例えば、文献検索とか、ほかの付録みたいな、ああいうのをそういうので調べていくとか、そういうのはなかなかいいんじゃないですかね。

○教育長 世木課長。

○学校教育課長 すみません。ICTを活用すると、確かに学習の幅は広がるんですけど、今おっしゃったように、気をつけなければいけないのは、書く活動が減ってしまうということがあってはならない。

だから、実際に書くことが、手を動かして物を書くということが減ってしまうと、やはりそれだけ定着基礎というものの定着も弱まりますし、書く活動をうまく授業の中でICTを活用しながら取り入れていく、やっぱり一つの重要なポイントだと思っています。

○教育長 小田部長。

○教育部長 デジタル教科書ですけど、来年度は中学校の教科書が改訂ですので、指導者用まで入れてみる、それで活用していくというのが、それは想定しておりますので、来年度の予算でも、その分は考えております。

○教育長 デジタル教科書について、いろいろご意見ありがとうございました。そのほかご質問ありましたらお願いいたします。よろしいですかね。（「はい」と言う者あり。）はい、ありがとうございました。

本日の議題は以上でございます。

～ その他報告・連絡事項 ～

○教育長 それでは、その他の報告事項がありましたらお願いいたします。片山課長。

○生涯学習振興課長 皆様方の来年1月の行事予定表が載っておるわけですが、1月10日に

予定しておりました令和3年の下松市成人式が延期ということになりました。今日現在で延期をしていないところが、実施予定というところが防府市と山陽小野田市のみとなっております。検討中でありました下関市さんも、今日延期を発表されております。

延期ということですので、ではいつやるかというところですが、1月の早い段階で皆様方のほうにご報告できるように調整していきたいというふうに今思っております。

以上です。

○**教育長** そのほかございますかね。長弘館長。

○**図書館長** 図書館から一つお知らせです。

今年度の下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブの今年度の作業、業務、事業をやりまして、明日の午後から新しくリニューアルしたものの公開になります。

今年度のポイントとしては、昨年教育委員会が発行した小学校の社会科副読本が入っておりますので、今までどちらかというところ、大人向けのアーカイブだったんですけども、子供も利用できるという環境が整ったというふうに思っています。

それと、トップページをまた少し改良しまして、今まで昔の写真を見る入り口がかなり下のほうにあったんですけども、トップ出しのような形で、写真がすぐ入れるような入り口を作りました。その2点が大きく違ったことです。

以上です。

○**教育長** そのほかございますか。引頭課長補佐。

○**教育総務課長補佐** それでは、来月の定例会の日程についてですが、1月は28日木曜日、13時半をお願いいたします。部屋は、この部屋の隣の部屋になります。

それから、2月、3月と予定ですが、議会等の関係で、第4木曜日ではなくなっておりますので、ご都合のほうを合わせていただければと思います。よろしくをお願いいたします。

それから、来月5日の賀詞交歓会ですが、中止となりましたので、併せてお知らせいたします。

以上です。

○**教育長** 2月は議会のため、この日になったということですね。よろしくをお願いいたします。

そのほかございますか。（「なし」と言う者あり。）

それでは、以上で本日の教育委員会会議定例会を終了いたしたいと思っております。お疲れさまでした。本日で全て終わります。本年度は新しい林委員さん、それから木佐谷委員さんというような方をお迎えし後半をやってきたわけですが、コロナの関係で学校が臨時休業したりとか、いろいろな行事、イベントが中止、延期、縮小になったりということで、子供たちとか、市民の方も大変苦しい1年だったというふうに思います。何とかみんなで力を合わせて、無事に乗り切ることができました。

今はまだまだ感染が急激に広がりつつある中ではありますが、コロナが収束して、伸び伸びと子供たちも学校で過ごせるようになればいいかなというふうに思っております。

委員の皆様方も健やかない新年を迎えていただければと思います。今年1年お世話になりました。ありがとうございました。

それでは、以上で終わりたいと思っております。お疲れさまでした。

午後1時58分終了